

令和6年度は、10月に関西エアポート株式会社が実施する関西国際空港航空機事故消火救難総合訓練に参画した実地訓練を実施するとともに、1月にその課題を踏まえた連絡訓練を実施。

【実地訓練の概要】

○目的

大規模自然災害に備えた身元確認体制（検視・検案や身元確認等）の整備に向け、関係者がそれぞれの役割や連絡体制等を確認。

○日時 令和6年10月24日（木） 18時～20時

○場所 関西国際空港ノースエリアオペレーションセンター

○参加機関 大阪府、大阪府警本部、大阪府歯科医師会、大阪府医師会

○訓練の内容（主なもの）

項目	内容
① 検案要請の伝達（連絡訓練）	・検視調査課から監察医事務所への検案要請、監察医事務所から関係者への検案要請等の連絡訓練を実施。
② 遺体受付	・搬送されてきたご遺体（人形）について、「遺体受付簿」「遺体調査表」「遺体票」を作成し、受付を実施。
③ 検視・検案	・受付が完了したご遺体の検視・検案を実施。
④ 歯科検案	・検視・検案に続き、ポータブルレントゲン等を用いて歯科検案を実施。



ご遺体受付



検視



検案



歯科検案

○まとめ

- ・実地訓練を行ったことで、検案等の情報伝達やご遺体受付、検視・検案、歯科検案など、災害時の一連の流れを確認することができた。
- ・通常の通信手段が遮断された場合の、府への検案要請手段など、訓練の振返りで意見のあった項目に対する改善を検討し、今後の訓練や災害時の対応に活かしていく。

【連絡訓練の概要】

○目的 災害等における遺体身元確認等に関する連絡体制等の確認（10月訓練における課題対応内容の確認）

○日時・場所 令和7年1月17日（金）16時～17時 監察医事務所等